

I♡SHIN
JUKU
CITY!
I♡SHIN
JUKU

令和7年度

しんじゅく若者Web会議

実施結果報告書

目次

I 会議の概要	2
1 会議の目的	2
2 会議の概要	2
3 募集方法	2
4 応募方法	2
5 参加者の属性	3
II 当日のスケジュール	3
III 会議の進め方	4
IV 区からのテーマ説明	5
V 意見交換	6
新宿のおすすめ・お気に入り・思い出のスポット 新宿のすきなところ・嫌いなところ	6
あなたはどんなまちに住んでみたい？憧れのまちってどこ？	14
年を重ねても住み続けたい！魅力ある新宿区にするために必要なもの・こと 新宿区の行政に期待すること	17
会議のまとめ	24
VI 参加者アンケート結果	29

I 会議の概要

1 会議の目的

この会議は、日頃、区政と関わりの少ない若者世代の意見やアイデアを施策に反映させるためのきっかけづくり、場づくりを目指すものである。若者の対象年齢は、30～39歳とした。

2 会議の概要

(1) テーマ

I ♥ Shinjuku City! ～新宿が「もっと」好きになる～

ねらい：新宿が将来にわたって住み続けたい魅力的なまちになるために、必要なもの・ことについて意見交換する。

(2) 概要

日 時：令和7年11月22日（土）10:00～12:30

実施方法：オンライン会議

参加者：若者21名

3 募集方法

広報新宿や区ホームページ、SNS、掲示板、デジタルサイネージ等により周知したほか、無作為抽出の区民（1,000名）等にチラシを郵送し、募集した。

募集期間：10月15日（水）～10月31日（金）

4 応募方法

区ホームページからの電子申請による応募とした。

※応募多数のため抽選により参加者を決定した。

5 参加者の属性

(1) 年齢層別

30～34 歳	35～39 歳	計
11	10	21

(2) 職業別

勤め人	自営	主婦・主夫	学生	無職	その他	計
17	3	1	0	0	0	21

II 当日のスケジュール

時刻	時間 (分)	内容
10:00～10:10	10	開会、ガイダンス
10:10～10:15	5	テーマ説明 (新宿区の紹介)
10:15～12:20	125	意見交換
12:20～12:30	10	閉会、事務連絡

Ⅲ 会議の進め方

テーマ説明（5分）

今回のテーマである「I♡Shinjuku City! ～新宿が『もっと』好きになる～」について意見交換するにあたり、新宿区の概要等について説明した。

意見交換（125分）

テーマについて参加者全員で意見交換をした。
各参加者が初めて発言する際は、簡単な自己紹介をしてからの発言とした。

区長からのコメント（5分）

意見交換全体のまとめとして、区長がコメントをした。

IV 区からのテーマ説明

新宿区の概要について、広聴担当副参事がパワーポイントを使って説明した。

テーマ説明の様子（パワーポイント資料抜粋）

令和7年度 しんじゅく若者Web会議
I ♥ Shinjuku City! ～新宿が『もっと』好きになる～

新宿区の紹介（抜粋版）

しんじゅく若者Web会議の意見の主な反映

- 令和6年度 テーマ「I ♥ Shinjuku City!～新宿が『もっと』好きになる～」
 - 「区の公式Xのアカウント名がわかりにくい」 ▶公式Xのアカウント名を変更
- 令和5年度 テーマ「新宿区のまちづくり（第三次実行計画素案）」
 - 「多胎児家庭向けのタクシー券やヘルパー派遣の補助があるとありがたい」
▶多胎児家庭への移動支援事業開始
- 令和3年度 テーマ「新宿の情報発信2021～若い世代に届けたい～」
 - 「公式HPにチャット機能を追加する」 ▶AIチャットボットの導入
 - 「通知があるプッシュ型の情報発信ツールを作る」 ▶公式LINE開始
 - 「広報紙などに二次元コードを増やしオンラインとの融合を強化する」
▶広報新宿への二次元コード掲載を強化

これから新宿区に住み続けたいですか

ずっと住み続けたい	できれば住み続けたい	わからない	できたら区外に転出したい
20%	56%	16%	8%

「ずっと住み続けたい」「できれば住み続けたい」を合わせた居住意向が7割台半ばを超えている

区政にどのくらい関心がありますか

あまり関心がない	非常に関心がある
12%	40%
少し関心がある	
48%	

「非常に関心がある」「少し関心がある」を合わせた関心派が9割近く

新宿区の好きなおとこ（ご意見を生成AIで要約）

- 交通の利便性
- 生活の便利さ
- 落ち着いた居住空間
- 都会としての魅力と環境
- 多様性と活気
- 文化と地域の魅力

V 意見交換

以下の3つのテーマについて、参加者全員による意見交換を行った。

- 1 新宿のおすすめ・お気に入り・思い出のスポット
新宿のすきなところ・嫌いなところ
- 2 あなたはどんなまちに住んでみたい？憧れのまちってどこ？
- 3 年を重ねても住み続けたい！
魅力ある新宿区にするために必要なもの・こと
新宿区の行政に期待すること

Q1 新宿のおすすめ・お気に入り・思い出のスポット

新宿のすきなところ・嫌いなところ

■意見交換（概要）

発言者1

参加したことのある区のイベントとして、コミュニティスポーツ大会に毎年参加しており、大会を通して知人や友人が増えることが魅力。好きなところは、落合エリアが緑が豊かで閑静な住宅街であることと、交通の便がいいところ。落合エリアからちょっと外に出れば繁華街や新宿に行けて、買い物もしやすい。嫌いなところは、新宿区内に住んでいる話をすると、「歌舞伎町に住んでいるの？」と言われてたりとイメージが良くないところと物価が高いところで、激安スーパーができれば暮らしやすいと思う。

発言者2

好きなところは、多国籍の食材店などがたくさんあったり様々な刺激があるところと、アクセスの利便性と、都会感があるところ。

嫌いなところは多様な方がい過ぎること、施設の老朽化が目立つこと、あとは1年間育休をとっていたが父親に対するサポートを見かけないところ。

発言者3

参加している行事は、スポーツ体験、馬場のお祭り、地域のおみこし、町内会のお祭り、子どもの「調べる学習コンクール」など。いいところとして、税金が実は結構安い

ほうかなと思っていて、満足度に対して税金が安いかなと考えている。あと、落合あたりで男の子が1人で自転車で虫とりかごと虫とり網を持ってぐるぐる回っているのを見て、治安が良く非常に安心なまちなのだと思う。

ネガティブなところとしては、バスで妻がベビーカーに乗っているとちょっと冷たい目で見られたということを知ったこと。

発言者 4

お気に入りの思い出のスポットは新宿御苑。よく家族と一緒にいき、周りのお店でお弁当を買ったり、ピクニックしたのがいい思い出になっている。

新宿の好きなところは、いろんな人がいて良い意味で雑多なまちであること。新宿の嫌いなところは、駅周辺にいと本当によくネズミを見ることで、10年前も見てはいたが、この1、2年ちょっと多いなと感じる。またこの1、2年、家の周辺がちょっと下水臭いと感じることが多くなっているが、ごみがあふれているということもなく、原因は不明。

発言者 5

好きなところは、若松町という早稲田・大久保エリアがすごく住みやすいこと。物価も新宿区の中では安いほうなのかなと感じていて、住みやすくて穴場がいいな気に入っている。お気に入りスポットは、新宿御苑の新宿門のほうに「母と子の森」というものがあり、森林浴ができたりと御苑の中でもさらに緑が多い、ちょっと変わった雰囲気のところとなっている。

発言者 6

好きなところは、交通の面がすごく便利なところ。あとは、特定の歌舞伎町付近はあまりきれいではないというイメージがあるが、そのエリアを除けば、どのまちもすごく治安もよくてきれいかなと思っている。飲食店が豊富なのも魅力的だし、住んでいて飽きないなと思っている。

嫌いなところは、新宿駅付近の乗換えが慣れないし、難しいこと。また、新宿駅や特に歌舞伎町付近はあまりきれいではないし、治安も悪いと思う。

お気に入りのスポットは、市ヶ谷の防衛省があるあたりのエリアは、自然とビル群の調和がすごくきれいでいいなと思うし、散歩するのがすごく好き。

発言者 7

好きなところは、四谷見附交差点がすごく開けているので、空が広くて夕日がとてもきれいに見えるところ。あとは老舗のお店が何軒かあって、何度も通うとアットホーム

に迎え入れてくれるところや、行きつけのバーで知り合いに出くわし、1杯ごちそうになるなど都心の村社会的なところ。

嫌いなところは、少し前に建った大きな建物の異質感、違和感みたいなおところ。

発言者 8

おすすめスポットは新宿中央図書館で、技術書が多く、たくさん借りることができる。あと、コズミックセンターでプールを活用していて、安くて、運動不足なので、大変助かっている。

好きなところは、田舎出身でも、都市の中に緑が多いと感じることが多く、また交通が便利で、住み続けたいと思う。あと、高齢者も含めてパワフルな方が新宿は多い印象がある。

嫌いなところは、場所によるが家賃が高いこと、治安の悪いイメージがかなり強烈。自分自身は治安が悪いと強く感じたことはあまりないが、そのイメージがすごく強く、長く住み続けようと思ってもいろいろな方から、「新宿に住み続けるの？」という感じのことを言われると、迷う自分がいる。

発言者 9

新宿の好きなところは御苑の桜と利便性、あとおいしいお店やおしゃれなお店が御苑や三丁目のところに多くあるところ、お笑いの劇場が中野に次いで多くあるところ。

嫌いなおところや改善してほしいところは、二丁目などLGBTQの文化があるのでパートナーシップ制度等のLGBTQ+の政策を日本でリードするような存在になってほしいが、政治が保守化している部分があるところ。あとはトーマ横キッズの問題などはいち早く改善するべきだと思っている。また、忙しいとなかなか行けないため、区のデジタル化はもう少し進めてほしい。生活面ではスーパーが少なく、自炊するのが結構大変。

あとはエレベーターについて、例えば東京駅から新幹線とかで帰ったときに、西口方面に階段なしで出ることができず、丸ノ内線の場合は階段を使わなければいけないし、中央線に乗ると南口のほうに出て、南口だとエレベーターで出るとすぐ前でタクシーが拾えなかったりするので、改善してほしい。あと地域交流がもう少し気軽にできる場がないことはないと思うが参加しづらかったりするので、そういう場があるといい。

あとは、今日はこういう場を設けていただいてすごくありがたいが、もう少し若い人の声が反映されるような仕組みがあるとうれしい。

発言者 10

好きなところは都心でアクセスがいいのと利便性がある。また都心なのに緑があるので新宿中央公園が好き。嫌いなおところで挙がっている歌舞伎町、繁華街は新宿のいい意

味でもカラーになっているなど思っていて、そこは好きなポイントになっているが、ト一横キッズのたまり場のエリアが汚過ぎて、集まっている人たちも集まったことによってプラスになっているのかがはなはだ疑問。外国人が観光で来ているのも、動物園の動物を見ているような感覚で来ていると思っており、新宿に住んでいることの自己肯定感が下がっている。

発言者 11

オーストラリア、アメリカ、フランスに住んだことがあるが、一番好きなのは日本で、特に神楽坂がとても好き。雰囲気がいいし、生活しやすい。日本語があまり上手ではないが、日本で妊娠や出産をしたとき、新宿のたくさんの人に助けていただき、本当に感謝している。

今の生活にとっても満足しているが、1つ言うなら、外国人の就職をもっとサポートしてもらえると、とてもうれしい。私と同じように、日本に来たばかりのときは日本語があまり上手ではなく、仕事を見つけるのが大変な人もたくさんいる。

発言者 12

新宿は雑多で、それがいいところでもあり、悪いところでもある。新宿のいいところは、国立競技場という日本の中でも大きい世界的な施設があるところ。

社会人のアカペラのサークルに入っているが、民営のスタジオを予約するとすごくお金がかかってしまうが、新宿区は公民館的なところ、会議場とか、音楽室とかが多く、交通の便もいいから集まりやすいところが良い。若者もだが、趣味で集まっている高齢者も集まりやすいところが意外とある。

嫌いなところ、もったいないなと思うところは、大久保エリアに住んでいるが、国際色豊かで、いろんな文化が体験できるというところはもっと発信したほうがいいと思う。あと、外国の方々のコミュニティもいろいろあるようで、たまり場になっているところとは、逆に道をふさいでしまったり、話しかけられたりとかで、居心地悪く感じてしまったりする。こういう若者たちの意見を集めるのも大事だが、外国人の方々と、こういう話し合いの場とか、向こうの不安とか、こうしてほしいという言葉とかも受け入れながら、こっちもこうしてほしいという、秩序を保つような場があればいいと思う。

発言者 13

染め物とか染色工芸が好きで、中井の「染の小道」のイベントがすごく好きだったので、職人のいるまちに住んでみたいと思って、別の区から引っ越してきた。

好きなところは、新宿区は大都会というイメージがあるが、緑が多くて公園が多いので、散歩がとても楽しい。あと、おとめ山公園で親子で遊んでいる姿を見るので、その雰囲気もすごくいいなと思っている。

嫌いなところは、新宿区役所周り、歌舞伎町の治安が気になる。明るい時間に行くとしてもビクビクしながらあの辺の通りを歩いている。あともう1つ気になるのが、ごみの不法投棄。ごみ捨て場に小さい布団とかソファとかが捨ててあって、「回収できません」みたいなシールが貼って、ずっと置いてあるような光景も見たことがある。そういう荒れている場所があると、そこを中心に広がっていくこともあると思うので、ごみの出し方のルールとかを徹底、周知できるといいと思う。

発言者 14

好きなところは大きな公園が多いところ。その中でも新宿中央公園はインクルーシブ遊具がある公園なので、なかなかめずらしくて、わざわざ40分ほど歩いてよく行っている。

嫌いなところは、今住んでいるエリアの問題もあるかもしれないが、高齢者が集団で喫煙や飲酒を1日中されていて、タバコの煙がひどかったり、ごみのポイ捨てがその周りに多かたりする。若者だけではないようなイメージを持っている。

あとは、新大久保の駅前もあまりにも混雑していて、ベビーカーではなかなか通れないところもあり、非常に困っている。

発言者 15

好きなところは、文化があって、きれい過ぎるまちではない、昔からのサブカルっぽいところも含めて、ごちゃごちゃしたところが面白い。あとは東京全体に外国人が増えているがそこを受け止める懐の深さみたいな、混乱していないところは強みだと思っている。

あと、小学生の子のクラスに結構海外の子がいて、そういうのが当たり前の環境であるのはいいと思っている。名前、肌の色が違って、それが特別なことと彼らは思っていないのは、すごくいいなと思っている。あと、よくママ友と話すのは、利便性はいいけれども、住んでいる人たちがキラキラし過ぎておらず、地に足がついているのはいい。保育園行くのにめちゃくちゃおしゃれしないといけないとか、そういうのもないし、マウンティングとかもないので、すごく生活しやすい。

ネガティブなところで言うと、区のイメージだけではなく、例えば施設だったり、掲示物1つとっても、ダサい。せっかくお金もあって、できるはずの区なのに、全てがどんくさいなと思ってしまう。

渋谷区はおしゃれでカフェに行くような気分で行けるような子ども支援センターが沢山あるが、新宿区の支援センターは子どもにフォーカスして、アンパンマンのおもちゃとかがいっぱいあって、「子育てしろ」という感じの雰囲気、ちょっと足が遠のいてしまう。そういうところが、もうちょっと寄り添っていただけるともっとこのまちを愛せそうだなと思っている。

発言者 16

好きなところは交通の便がいいところで、どこに行くにもアクセスが良く非常に便利。

あとは、繁華街と自然のバランスが良く、賑やかな場所と、静かに過ごせる公園のエリアも充実している。遊具が変わっても、新宿中央公園が思い出のスポットで、次世代の子たちにも思い出の場所になっていくところなのだなと思う。あとは、一般的に懸念されている場所だが、歌舞伎町も思い出の場所。あまり治安がよくないであったりとか、汚いイメージがあるが、実際には賑わっていて、とても活気があふれているので、必要以上に規制していくと、逆に言うと歌舞伎町のよさが薄まっていくのではないかなとも思う。

発言者 17

好きなところは新宿御苑で、四季折々の季節をまるで自分の庭のように感じられるというところがいい。

またいい意味でも悪い意味でも、人との関係性が希薄というか、ファミリーで過ごされている方はいいと思うが、ひとり暮らしだと、たまたま新宿区に友達がいてネットワークが広がったが、若い人だったら1人ぼっちみたいな感じになるかなと思う。

発言者 18

母親目線で好きな場所というと、漱石山房記念館で、小さい公園とかも後ろにあってよく行っている。

あとは神楽坂は歩いていて雰囲気良く、お散歩がてら行くことがある。嫌いなところは、新宿区役所付近がベビーカーで行くにはなかなか厳しいと思うことがあったりする。あの辺は建物もいっぱいあって、移動させるのは大変だと思うが、ちょっと行きづらいなと感ずることがある。

発言者 19

妊娠を機に新宿区からの引っ越しも考えたが、待機児童も統計上ゼロで、適切にいろんな支援も受けられそうというところで新宿区に住み続けることを選んだ。好きなところは交通の便がバスでも電車でもとてもよいというところと、思ったよりも緑があるというところ。

嫌いなところは、新宿駅の周りの治安は子育てしていくにあたって不安で、特にト一横界限は面白いことではなく、適切な支援にきちんとつないでいただいて、変わっていったらいいなと思っている。

もう1つは、多様性と新宿区が言っているにもかかわらず、パートナーシップ制度の

導入がなされていないところ。私自身、めずらしい名字で、夫もめずらしい名字なので、選択的夫婦別姓を待っているところで、既に武蔵野市や横浜市においては、事実婚状態の夫婦でも、パートナーシップ制度の対象にしているにもかかわらず、そもそも新宿区はパートナーシップ制度自体が入っていない。新宿という東京を代表するようなまちなのに、そこが多様性と言いつつ進んでいないというところは嫌なところになる。

発言者 20

好きなところは、四谷区民センターの上の階にモスバーガーが入っていて、あそこのモスバーガーでココアを飲むのが好き。

改善したいところは、歌舞伎町の治安がよくないのと、趣味で自転車に乗っているので、自転車がもっともっと走りやすいまちだったらいいな、道路が走りやすかったらいいなと思っている。

発言者 21

子育ての立場から好きなところとしては教育的支援であるとか、母子の手当てが厚いところ。あとはスポーツセンターとかコズミックセンターのような大きい運動施設があるので、子どもたちも活用しやすい。

あとは海外の方が多いので、子どもたちもそういった形で壁がない環境の中で育てることができる方がいいと思っている。

改善してほしいところは治安の悪さで、子どもの学校でも議題として取り上げていたりする。歌舞伎町のト一横界限は早急にそこに集まる子どもたちを救い上げる場があってもいいのかなと思っている。

思い出のスポットとしては、実家が箱根山に近いところにあり、そこでよく母や子どもたちと一緒にお花見をしたのですごく気に入っている。

区長

私は大久保で生まれて、学区域が歌舞伎町も入っていたので、子どもの頃からこの辺におります。たくさんの方からお話がありましたが、今の状態は非常に気になってます。私が育ってきた時代の歌舞伎町とは違うものになっています。

新宿区役所も、警察官に警視庁から出向してもらい、警察と直接やり取りをしながら、対策をとっています。ただ、私たちは警察権を持っていないのと、新宿在住のお子さんたちが非常に少ないということで、直接的に手を下せず、声をかけたとしても、居住地にお送りしなければいけません。しかもその権限は東京都にあります。私たちは、警備員を夕方3時から朝5時まで見回りをさせており、子どもたちが薬を飲んで気を失っているとか、お酒を飲んでいいるなど、何かおかしいことが起きたときには、すぐ警察に連絡、もしくは救急を呼ぶという形で、見守りをずっと続けているのですが、そ

こに毎年、年間1億8,000万円ぐらいの経費をかけているという状況です。

東京都に依頼し、東京都のほうで「きみまも」という施設をつくってもらい、年間1万人程の子どもが来ていますが、そういった施設を邪魔に思う大人たちが紛れ込んできて、そこで公然わいせつを行うですとか、本当にぎりぎりのところでせめぎ合いをしています。そこにたむろしている人たちに対しては、警察にも立ち会ってもらい、声かけをすることで、その瞬間はいなくなりますが、私たちが立ち去ると、また戻ってくるので、それを何とかできないかというのが、今、大きな課題かと思っています。

また、ネズミ対策については、対策した瞬間は減るのですが、繁殖力が高く、その後また増えてしまう。恐らく気候が変化したことによって、新宿だけではなく、都内全域でネズミの増加の報告が挙がっており、生き物相手なので非常に難しいところではありますが、実験して、こうすれば多少効果があるというのが分かってきたことについては、住民の皆さんや商店の皆さんにもお伝えし、まちぐるみで対策しないといけないと思っていますので、そうした働きかけをこれからしっかり強めていきたいと思っています。

Q2 あなたはどんなまちに住んでみたい？憧れのまちってどこ？

■意見交換（概要）

発言者 1

今後、人がどんどん少なくなっていったって世代交代がどんどん起きると思うが、世代交代が円滑に進んで、常に人が入ってきて、賑わいがあるまちがいいのかなと考えている。活気があると、どんどん幸せになってくるかなと思っているのと、まちとして成長すべきだと思っているので、成長する源というのはやっぱり人なのかなと思うと、そういうような人が入ってくるまちというのがいいのかなと思う。

発言者 2

今後どんなまちで暮らしていきたいかというところを考えたときに、夏の猛暑が本当につらくて、出かける場所も少なくなってきているので、屋内で楽しめる場所だったりとか、緑が増えて、夏であっても過ごしやすいようなまちに今後は住んでいきたい。そういうところを考慮して建物や公園とかをつくるのを推進するまちだったら、長く住んでいきたいなと思う。

発言者 3

小さい子どもからお年寄りまでいられる持続可能である地域であってほしい。まず雇用があることと、永住できるような住宅があるということが望ましいと考えている。

発言者 4

若い方が都心に出てくると寂しいと感じるという話をよく聞くが、幸い私は町会というものをきっかけに、人のつながりが結構強くある。この人のつながりというのが、しっかりと保たれているようなまちが憧れのまちかなと思っている。

発言者 5

先ほど町会の話もあったが、手段を選べば、新宿では人付き合いが活発だと感じた。あと、高齢者がパワフルで、自分もパワフルな高齢者になっていきたいので、人付き合いが活発なまちがいいなと思っている。

発言者 6

田舎育ちなので、都会に憧れがあった。お店があって人がいて、胸を張って人に言えるまちになってほしい。港区ほどでなくてもいいが、今新宿にあるような、歌舞伎町が悪いみたいな、そういうネガティブなイメージを払拭するというブランディングができ

たら胸張れるかなと思っている。

発言者 7

私はこれから子どもがほしいと思っているので、子育てしやすいまちにしてほしい。あまり子育て施策を詳しくは比較できていないが、新宿区がそういうのをリードしてほしいと思う。あとは外国人の方の問題が国政選挙の争点にもなっているため、新宿区が多文化共生を象徴して、学校で語学が話せないとか、そういう問題も新宿が率先して解決したり、住民もそれを、政策だけではなくて、納得感があって、「外国人の方と一緒に住むといい社会が作れるよね」ということを、象徴するようなまちづくりをやってほしいなと思うし、私もそこに参画したいなと思う。

発言者 8

今の流れで1つ言うと、せっかくたくさん異文化交流できる機会があって、外国語も小さいときからアクセスできるので、新宿にしながら語学留学とかそういうことができ、子どもたちに機会が提供できたらすごくいいなと思う。

もう1つ、まちづくりのところで、新宿はまちごとにカラーがあって、そこはすごく好きだが、神楽坂に長く住んでいたときに感じたのが、家賃の上昇とともに、チェーン店が増えたり、安いお酒をバンバン出すような、まちの雰囲気とはそぐわないようなお店、儲かるお店が増えてきてしまっている。そうすると文化が守れなくなってくるのではないかなと思っていて、カラーを守るような施策ができればいい。

ただ、神楽坂は商工会がたくさんあり、それぞれが仲がよくなって協力できないというのでも聞いたりしているので、そこはちょっと大人になって、皆さん自分たちのまちを守るような活動ができないものかなと、外から思っていた。

発言者 9

あなたはどんななまちに住みたい？憧れのまちってどこ？というご質問だったので、考えてきたのですが、コペンハーゲンであったり北欧の道がすごく広いというところが好きなのだなと感じた。自動車の道も広いが、歩行者の道があるのはもちろん、それとは別に自転車だけの道があって、自転車だけの信号機があったりとか、そういう道の広さというのが生活しやすさにつながっていると思ったので、道が広くなればうれしい。

発言者 10

古い建物も新しい建物も、いい感じに混ざり合っていて、どちらも大切にできる雰囲気があったらいいなと思う。まちがそんな雰囲気だと住む人も、新しい若い人も満足だし、シニア世代も満足できると思う。いろんな世代の方が安心して、満足できるまちがいいなと思う。

発言者 11

どんなまちに住みたいかという切り口でいくと、新宿が職場なので、それに合わせてこっちに今住んでいる。さっき雇用の話も出たが、新宿に本拠地を置いている事業所も多いので、住んでいる人と企業とのマッチングの機会が多いと、転職しても同じまちに住み続けやすいと思う。区の合同企業説明会があると思うが、さっき調べてみたら、求職者側の定員が50名と、新宿区の規模に対して少くないかなと思う。自分も働いて、人手不足に悩んでいて採用活動しているので、そういうマッチングの場があると、もっと新宿に定住する人も増えるかなと思う。

区長

新宿にしか住んだことないので、「このまち最高」と思っていますが、いいところも悪いところも含めて新宿なのだというのは正直感じています。大学に行くと日本中から人が集まってくるので、そこで自己紹介をすると、「本当に新宿に人が住んでいるのか」とか「あんな汚いまちによくいられるね」ということを言われます。何とかイメージを払拭したいというのが今、私の頭にありまして、いろいろ憧れのまちについてのお話をいただきましたので、本当にそういうふうになっていけるといいかなと思っています。

あと、意外と緑が多いとか、老舗が減っていった後にチェーン店が入ってしまい、商店街からどんどん楽しさがなくなっていくこと、治安のことや、外国人の方との共存という話をいただきました。SNSで叩かれていたのですが、イスラムの人たちが路上で礼拝していたことがあり、その後、区の職員が毎週立ち会って、回数を分けていただきました。みなさん整然と列をつくって並び、順番にモスクに入って礼拝をすることか、その辺は地元の皆さんと共存できるような対策をとらせていただいています。最初のうちはいろいろトラブル、軋轢も起きますが、そこは逃げずに直接出向いて行って、私自身も自転車の不法駐輪のところに行って対策をしたことがあります。アナログではありますが、面と向かって話し合いながら、住みやすいように改善していければと思っています。

言い出せばきりはないとは思いますが、今日はこういう機会なので、次の改善してもらいたいところという議題で、どんどんご意見をおっしゃっていただければありがたいと思います。

Q3

年を重ねても住み続けたい！

魅力ある新宿区にするために必要なもの・こと

新宿区の行政に期待すること

■意見交換（概要）

発言者 1

地方の人が東京に来るときに、どこに住むかを検索すると思うが、区としてリーチするためには新宿区のブランド化が重要だと感じている。メディア・SNS等で考えるとインスタとかXがいいと思う。新宿区が危ないまちなのではないかということも払拭するためには、映像で15秒など短い時間でのリーチがいい。四谷や神楽坂はまちがきれいだし、落合は非常に落ち着いているし、「このまちっていいまちなのかな」というのがわかるのではないかと感じる。

発言者 2

よくも悪くもこの歓楽街が新宿の歌舞伎町らしさだなと思うが、絶対に子どもたちが立ち入ってはいけないエリアとか、昔は秩序の上に成り立っていたが、今はあまりに雑多過ぎて、ト一横キッズのように子どもなどの弱い人たちが、大人たちの食べ物にされるということは絶対にあってはいけないと思っている。それを見て住んでいる側も心がしんどいので、具体的な解決策と言われると、また自分の中でも考えたいと思う。いい意味で歌舞伎町らしいクラブなどもあるので、バランスが取れると良い。

田舎出身の友人は田舎は人との関係性が密過ぎて些細なことまでシェアされてしまうから都会がいいとか言うが、先日花園町振興会でお手伝いしてお話していると、人とのつながりはいいなと感じた。商店街などと（地域住民が）コミュニケーションができるようもう少し推進してはどうか。

毎年のように更新時ごとに家賃があがるのがしんどい。区内の友人も5万円突然上げられたり、海外オーナーによる家賃の一気の値上げや、土地の高騰に給料が追い付かないなど。ひとり暮らしで若い子たちが住めるのか。

新宿区の商品券、以前はアプリだったのがチケットになり、郵便局に取りに行くにも平日9時から5時まで土日なし、となると現役世代に対する配慮した設計になっているのか不満に思った。

ネズミ対策やごみの問題、きれいなまちは住みやすいのでぜひ改善してほしい。

発言者 3

歌舞伎町の問題に加え、大久保公園の立ちんぼ問題。生活のすぐ近くアクセスできる場所の問題であり、子どもたちが大きくなったときのことを考えると不安があるので対策して欲しい。

駅のバリアフリーが進んでいない。エレベーターが駅の片側にしかなくもうひとつはすごく遠いということが多くあるので、お年寄りやベビーカーの方のために対処してほしい。渋谷駅は改装してからベビーカーでアクセスしづらくなった。何度もエレベーターに乗ったり迷路のようなまちに新宿区にはなって欲しくない。

外国人そのものというより1つの国の方がコミュニティをつくって集まると治安悪化や軋轢になる。その国の人固まるのではなく、どうやったら溶け込めるのかという施策を考えられないか。

日本語をちゃんと勉強して話せる外国人の方はトラブルになる印象が無いので、そこを孤立化させないことが大事だと思う。

(子どもの)支援センターについて新宿区は少し遅れていると感じる。渋谷区の「かぞくのアトリエ」は、地域の人たちが来やすかったり、ママたちが自由にお茶を飲めたり、おもちゃや内装も居心地のいい場所となっている。このような場所が無料で使えるインフラであるとありがたく、そういうことの積み重ねがまちのブランディングに繋がっていくのかなと思っている。新宿のイメージを変えようと広報にすごく力を入れることに予算を割くよりは、中にいる人たちがいかに過ごしやすいかということにコストリソースを割いてほしい。

発言者 4

住みたいまちとして、プラス面とマイナス面がある。ト一横や立ちんぼなどはマイナス要素だが、思い出横丁に外国人が多く訪れることや、都会ならではのアクセスの良さといった特徴は、もっと強みとして打ち出すべき。

行政に期待することは、区が様々な対策をしているにもかかわらず、それが十分に伝わっていない点。最初にPDFで「新宿はこんなまちですよ」と紹介され、皆さんの話を聞いても、神楽坂などを散歩したら楽しそうだなと思った。

こうしたことを動画など、今どきの発信方法で伝えることで、より効果的に情報が届くのではないかと。区が取り組んでいることはたくさんあると思うが、それを伝える形で発信してもらえれば、新宿の見方も変わってくると思う。

発言者 5

新宿区には魅力的なエリアがたくさんあるので、その魅力をもっと発信できたら良いと思う。

新宿に住んでいる人にしか分からない魅力が、さまざまな地域にある。新宿駅周辺以外の魅力的なエリアを発信できれば、住みたい人や遊びに来たい人がさらに増えるのではないかな。

ヨーロッパ・ウィーンに旅行に行ったとき、まち並みがきれいで、ごみも全く落ちておらず、住みたいと思えるほどきれいなまちであった。新宿区の繁華街エリアと何が違うのかと考えたとき、まちなかのごみ箱の数が明確に異なる。お店でアイスクリームを食べたり、コーヒー片手に散歩した後に捨てられる場所が、少し顔を上げればすぐ見つかるレベルである。道にごみが落ちていることや、ネズミの繁殖なども、ごみ箱の数を増やすことで一定程度緩和できるのではないかな。財政的なハードルもあると思うが、検討いただければありがたい。

発言者 6

長く住み続けようと思い、物件を探す、なかなか難しい。正確なデータかは不明であるが、新宿は持ち家率がかなり低いというデータを見た。物件がそもそも少ないという印象があり、結婚している場合、2LDK以上という条件で相当厳しくなる。要望だけになるが、家賃や物件購入に対する補助があるといいと思う。

これから子育てに入るにあたり、子育てに関する情報が現状では十分に届いていないため、新宿区の住みやすさや住み心地の良さのイメージが持ちにくい。情報発信は非常に大事であり、うまく取り組んでほしい。

情報発信に関しては、新宿区は様々な特徴があり、先ほどの歓楽街などもいいところや悪いところあるが、秩序を保ちつつ取り組む。多文化共生も、秩序を保ちつつ取り組む。それをうまく情報発信して、「新宿はこういうまちだよ」という、本当に分かりやすい1つのテーマというか、1つのキーワードみたいな形で推し進めてほしい。

発言者 7

子育て世帯として、支援センターだけでなく、たとえば豊島区の「パパママ☆すぽと」のような子どもが遊べる場所がほしい。区民優先で予約が取れ、暑い夏も子どもが遊べる場所が欲しい。おもちゃ美術館も観光客で混んで遊べない印象だった。

里帰り出産のとき、地元で保健師が来てくれるかは自身で確認してくださいと言われて。出産後の大変なときに電話したり、それを新宿区にまた連絡したりしなければならないので、もう少し連携をとって欲しい。

妊娠時のゆりかご面接は、つわりで大変なときもあるので、希望者にはオンライン対応も可能にして欲しい。

発言者 8

自転車ですら安全に移動できる環境が整っていない。新宿区に自転車優先の道は少ない

か、あっても非常に狭い。交通ルールを守っても怖い思いをすることは課題である。子育て世代が増え、自転車シェアも普及し、さらに来年から法律も変わるので、自転車の道の整備を進めてほしい。

歌舞伎町の治安に関しては、ぼったくり店と客引きが問題である。客引き防止のアナウンスは流れているが、雑音に紛れて聞き取りにくく、酔っている人には届かないため、抑止力としては弱い。

さらに、客引きの取締まりが、実際口頭の注意だけで終わっていると思う。取り締まる側と客引きが親しく話している場面も見たことがある。このような緩さが抜け道となり、お店の方もうまくやっているかもしれない。したがって、客引き防止条例をより強い罰則付きにし、区が確実に取り締まれる効果的な仕組みにするべきである。

発言者 9

新宿区の多文化共生のページを見ても、困ったときにここに相談しましょうとか、ここが国際連携都市ですよというような案内が中心だったので、もっと一般の方が気軽に国際交流できるようなイベントなどを新宿区で開催していただくのが望ましい。

若い人の声をもっと区政に取り入れないと区からの転出が多くなってしまわないか。例えばユースカウンスル、愛知県の新城市では条例で若者の声を聞く仕組みがあり、品川区ではリバースメンター制度がある。しんじゅく若者会議のようなイベントもいいので、ただ意見を言うだけでなく、なにが実現したのか等フィードバックがあるといい。

パートナーシップ制度について新宿区は二丁目文化があるのでそこは生かすべきかと。議会で否決されたと思うが区長の強いリーダーシップでやってほしい。区長がどう思われているのかお伺いしたい。

ト一横キッズや歌舞伎町の問題は、支援団体の関係者が逮捕されたり、施設内の利用者が逮捕されるなど、あってはならない事態が発生している。財源が足りずにこうしたことが起こっているなら、困っている人を助けるために財源を増やしてほしい。専門家をいれるなど区で独自に、委託でなく採用をすとかで問題解決すれば他の自治体にも広がるのではないか。

現役世代として健康格差の拡大を実感している。区民プールは利用可能であるが、それ以外の選択肢であるパーソナルジムやピラティスなどは、経済的余裕のある者のみが健康に投資できるものが多い。区のイベントに参加しようとしても、高齢者や小学生以下を対象とするものが多い。現役世代が仕事帰りや土日に参加できるイベントは少ない。医療費の削減にもつながるため取り組みを進めてほしい。

発言者 10

多様性があることから、治安の面でネガティブにならないよう周知してほしい。警察

が動くかどうか、法律とルール、マナーの3つのレイヤーがあると思うが、マナーの部分については、強い香水、ごみの匂いや、外国語のラジオをスマートフォンで垂れ流して歩くとか、そういうことを暗黙知として捉えず明文化したほうがいい。

保育園で子どもが突発的に発熱すると、保育園から帰宅を求められるが、保護者にも仕事がある。こうした場合に対応する仕組みを、先進的に導入してほしい。

渋谷区では、生まれた子どもにハチ公のグッズが贈られる。新宿区においても、出産の際、同様の取り組みがあれば、まちへの愛着が深まると考える。

庁舎の混雑解消の取組として、システムの刷新などをお願いしたい。

発言者 11

産後すぐに復職し、夫婦ふたりで親の援助を受けずにやってきた。同時期に出産した方と交流したいと思っても、育休中のお母さん同士の交流は基本的に平日であり、支援センターも土日は利用できる内容に限られる。近所の「ここ・から広場」が平日にカフェ利用できることを最近知ったが、土日のどちらかだけでも利用できるようにしてほしい。また、土日に夫婦で一緒に参加できる交流会を実施してほしい。

発言者 12

若い方が町会活動にもっと参加できる仕組みを整えば、まちはさらに良くなると考えている。

例えば、地域の課題をそのまま行政に伝えても、変化は起きにくい。先日、ビルを建て直す方が駐車場附置の関係で、そのまま進めるとたまり場となり治安悪化につながる懸念があった際、まちの課題として行政に働きかけ、規制を緩和してもらった事例がある。町会や商店街を通じて、まちの課題として行政に対応を依頼することを、若い方は知らない場合が多い。

町会で若い世代との接点をつくるため、Xやフェイスブックのアカウントを作って交流しようと模索しているがノウハウがない。行政からそういったノウハウを教えてもらえるといいと思う。

また、アナログの掲示板は視認性が低いため、デジタルサイネージに切り替え、課題の投稿やイベント告知など、相互コミュニケーションが可能になれば、より多くのまちの声を吸い上げることに繋がると考えている。

発言者 13

親が転勤族で全国をまわったが、新宿は上位で好きな場所である。他との比較で挙げると（前の方とは）逆の意見になるが、地域コミュニティに入らなくても生活が成り立つところである。他から転入される割合が多いため、ごみ捨てひとつでも区側でシステム化されている。地主のコミュニティがあるのは知っているが、入れてもらえなかった

ので入っていない。そういった古くからいる方のコミュニティが生活と切り離されたところで作られているのが楽でいい。

ネズミ対策として、臭いのしないごみ箱設置に対する補助や、共同でのごみ箱を設置する取組があるとよいと思う。

新宿区内にはたくさんの大きな病院があるが、今後も維持・誘致を進めて欲しい。必要とあれば最先端の医療が近場で受けられるのは、介護の家族を抱えた経験から、まちとして魅力的である。

発言者 14

歌舞伎町が怖いという話があったが、私は怖いとは思っていない。ト一横キッズなどが集まって治安が良くない部分もあるが、人それぞれ考え方がある。一人で怖くないと言ってもどうにもならないが、新宿区に住む 100 人の人が「全然こわくないよ」とポジティブな気持ちで歩き回れば、そういう方も集まりにくくなるのではないかと思う。

新宿のコミュニティスポーツ大会に私は出ているが、あくまで例えばだが 6 人制ビーチボールバレーを全国区に有名にしようという活動をして「こんな都会でもスポーツやってるんだ」というポジティブなイメージをつくる。もちろんそれだけで全てが解決するとは思わないが、1つの手なのではないかなと。それが文化的なことであったり、スポーツであったり、その辺はいろいろあると思う。

発言者 15

今年母を看取ったが常々病院では死にたくないと言っていた。母は自宅で亡くなることができたが多くの方は病院で亡くなる。区として自宅で医療を受けられるサポートやサービスが増えるとよいと思う。

高齢者が多少なり元気なうちに、高齢者だけでシェアハウスをしている方がいるのを YouTube で見て、魅力的だと思った。新宿区も高齢者が多いが、体が動く方、戸山ハイツでも元気を持て余している方も多くいる。こういう施設を設立したい団体があった場合にサポートすれば、雇用も生まれ、若い方の働く場も設けられるのではないかとアイデアとしてどうかと思う。

雇用の面で、元気な高齢者が多い中で、高齢者と職場とのつながりが設けられる場や、最近インターネットを使える高齢者が増えているので、ネットの中で斡旋できるような場を多くつくることが大事だと思う。パソコン分からないということであれば、パソコンを教える場を設けるなり、解決していけばいいのではないかと思う。

24~25 歳のときに消防団に在籍したことがあるが、上下関係が昔ながらの体制として残っていた。町会と同様に若い方が少ないのは、そのイメージが理由の一つだと思う。20 歳以上 30 歳未満くらいの若い世代による新しい消防団をつくり、まちの活性化に取

り組むのもおもしろいのではないか。ト一横キッズなども悪ぶってはいるがエネルギーであり、おしゃれでかっこいい消防団などは楽しいと考えるし、新宿区から始めてもよいと思う。

発言者 16

新宿区の LINE を友達登録している。毎日さまざまな情報を配信してくださっているが、PDF の資料の文字が小さく読みにくい。ウェブに適したデザインや UI デザインを考慮してもらえると、記事を毎日楽しんで読めると思うので、文字を大きくしてほしい。

区役所を土日に半日でいいので開けて欲しい。マイナンバーの手続きで平日に休暇を取るなど苦労したことがある。対応する人員はスポットワーカーやタイミーなどを活用すればと思う。

新宿区は保育園の待機児童がゼロですばらしいが、反面、園児が少なく、幼稚園が閉鎖になりそうだと聞いた。できれば幼稚園を閉鎖するにしても園児がお友達とわかれなくてすむようにどこかの保育園と統合して子ども園の形にしていければいいと思う。

発言者 17

新宿に求めるものとして、基本的には便利であってほしい。

1 点、引っ越してきてびっくりしたのが、マイナンバーカードで、コンビニで戸籍謄本がとれない。以前、千葉の松戸に住んでいて、そこはコンビニで戸籍謄本がとれた。まさか新宿区が、ほかの市区町村でできることができないのかということで大変驚いた。ほかの市区町村でできて、新宿区でできないことは、できる限り少なくすると新宿の魅力が増す。

会議のまとめ

区長からのコメント（全体を通じて）

いろいろなご提案をいただき、ありがとうございました。

何人かの方から、パートナーシップ制度について意見をいただきました。これは、まず新宿だけで導入しても意味がないということがありました。一方、現在裁判中ですが、もし裁判で否定されるような場合、議会にかけると議論が分かれるため、区のを整備し導入しようと考えていました。民間で認証制度をつくっている方とも手法を相談していましたが、東京都が包括的なパートナーシップ制度をつくったため、新宿としてはそちらを活用している状況です。

歌舞伎町の話もありました。私たちにできることは、新宿区に住むお子さんたちへの対応です。しかし、今そこで倒れている、今日帰るところがないといった緊急避難的な対応が必要な子に対しては、東京都と連携し、保護する対応をしています。

私も、十数名のトー横キッズと言われている子たちと話し合いをしましたが、お子さん一人ひとりが異なる理由で歌舞伎町に来ています。中には普段、川口や大宮に集まっているものの、せっかくなので歌舞伎町に行ってみたくなったという子もいました。SNSでは歌舞伎町がトップに表示されてしまい、どうしても聖地として、交通の便も良いため、集まってしまうのが実情です。

大久保公園周辺では、警察や地元の方々とは協力し、パトロールを実施しています。しかし現状では、パトロールによって一時的に人がいなくなっても、再び戻ってきてしまうという状況が繰り返されています。

また、支援団体の方が逮捕されたという話もありましたが、相談に乗る過程で親近感が強まり、相談員が相談者と一線を越えてしまうことが、どうしても起こりがちです。特に同世代の若い方同士の場合、恋愛感情が生まれることもあり、「恋愛をしたらクビ」ということで、実際にクビになる方も出てきます。

これは非常に難しい問題で、大人が相談員になると、今度は同じ目線で話を聞いてもらえないという課題があります。

私たちとしては、売春をしている方々や、シネシティ広場周辺に集まる子どもたちが、自殺をしないよう、犯罪に巻き込まれないよう、そして健康を害さないように、見守り活動や声かけ、場合によっては福祉につなぐ取組を行っています。

しかし、1人解決してもまた別の子が集まってくる、1人の子の解決に半年から数年かかる案件もあります。そういった子どもたちも、数か月でどんどん入れ替わり、途中で

いなくなってしまうこともあります。そのため、非常に難しさがありますが、根気強くやっていくしかないと思っています。

先ほど、何名かから親を亡くされたというお話がありました。実は私も2か月前に親を亡くしました。そのときは在宅緩和ケアとまではいきませんが、それに近い形でしたし、私の知人にもそういった形のケアを使っている方がいます。新宿にも、訪問看護を行う事業者もあり、親切に家まで訪問してくれる医師も区内各所にいらっしゃいます。在宅での緩和ケアもできますので、そういった情報はホームページにも掲載していますが、先ほどから発信力が足りないというご意見もいただいています。LINEの話もありましたが、区の公式LINEに登録している方は少なく、必要な情報が必要な方に届いていないことは課題だと思っています。

ハッピー商品券について、デジタルがなくなったというご意見もいただきました。これまでデジタルと紙の両方で実施してきましたが、2つのシステムで実施すると、ある意味、税金の無駄遣いになります。商店によっては、決済端末を入れると手数料を引かれるということもあり、今回は、商店会への加入を拡大するためのキャンペーンとして、ハッピー商品券事業を行っています。なるべく利用者の方の利便性が高まるようにと、各商店の端末購入の補助を昨年まで実施していましたが、なかなか全ての店には普及していないという状況です。いまだに現金がこれだけ流通しているのは日本ぐらいで、海外では皆さん電子マネーでやっていると思いますので、そこは意識してやっていければと思います。

コンビニで戸籍が交付できないのはお恥ずかしい話です。この件については、私も着任してからずっと言っていますが、なかなかシステム構築のベンダーが見つからないという状況です。以前は自動交付機が出張所にありましたが、その後、コンビニでの交付が普及してきたため、コンビニ交付に切替えたのですが、戸籍については標準装備ではなかったということもありました。戸籍は、住民票と違い、更新するのに時間がかかることもあり、正しいものをタイムリーにできるようなシステム設計ができるベンダーを今探しています。現在、全国一斉に国の統一システムに切替えている最中のため、ベンダーのリソースも枯渇しているという状況があります。これが解消され次第、必ず着手しようと思っています。お時間をいただいています、申し訳なくと思っています。

ネズミやごみ箱の話もよくいただきます。ごみ箱は以前、設置していたことがありましたが、家庭ごみの持ち込みや、吸い殻を入れてしまい火が出たこと、また、繁華街に置くと、薬の取引に使われるという恐ろしさがあり、すべて撤去したという経緯があり

ます。パトロールを強化すればという意見もあるかもしれませんが、パトロールの目をかいくぐって取引される恐れもあり、そういったことを防ぐということからも、なかなか設置できないという状況もあります。

住宅地では、若干公園などに設置し、子育て中の方や働いている方に弁当がらを捨てていただけるようにしていますが、やはり、朝になると家庭ごみを持ってきてしまい、あふれることが発生し、住民の皆さんから撤去してほしいという要望をいただくこともあります。清掃の回数を増やして、なるべく置けるように努力しております。

ただ、なかなかマンパワーが追いつかず、今公務員のなり手が少ない中、どう公務員を増すかについても、23区で話し合っている状況です。人手不足が解消できず、サービスがうまく展開できない、そんな状況もあり申し訳なく思っています。

自転車のお話もいただきました。広い道路には、できるだけ自転車優先道のスペースをつくるようにしています。しかし、区が管理している区道は、概ね4メートルから6メートル幅が中心であるため、自転車道をつくと歩行者が歩けなくなるなど、なかなか難しい状況もあります。今後も、機会をとらえて、道路の拡幅ができた場合には対応していきたいと思っております。

0歳児の話や、土日の開庁についてもお話をいただきました。

子育て関連の施設は平日は毎日開いています。例えば開庁日数を減らさせていただく代わりに、土日に少しシフトするような転換、つまり考え方を変えないと実行は難しいかもしれません。

また、働き方改革によって、できるだけ残業を減らし、土日の出勤も抑えるよう求められている状況もあり、その点をどう調整するかも課題です。土日の営業は民間で実施できていることでもありますので、そうした手法も含めて考えていければと思っています。

夏の遊べる場所、これも色々工夫できればと思っています。

健康の面では、区では定期的にウォーキングイベントを実施しており、先月、私も区民の皆さんと一緒に8キロ歩いてきました。こうしたイベントは主に土日に開催されていますが、NPOの皆さんのご支援を受けながら、コースづくりや企画設定などを行っています。

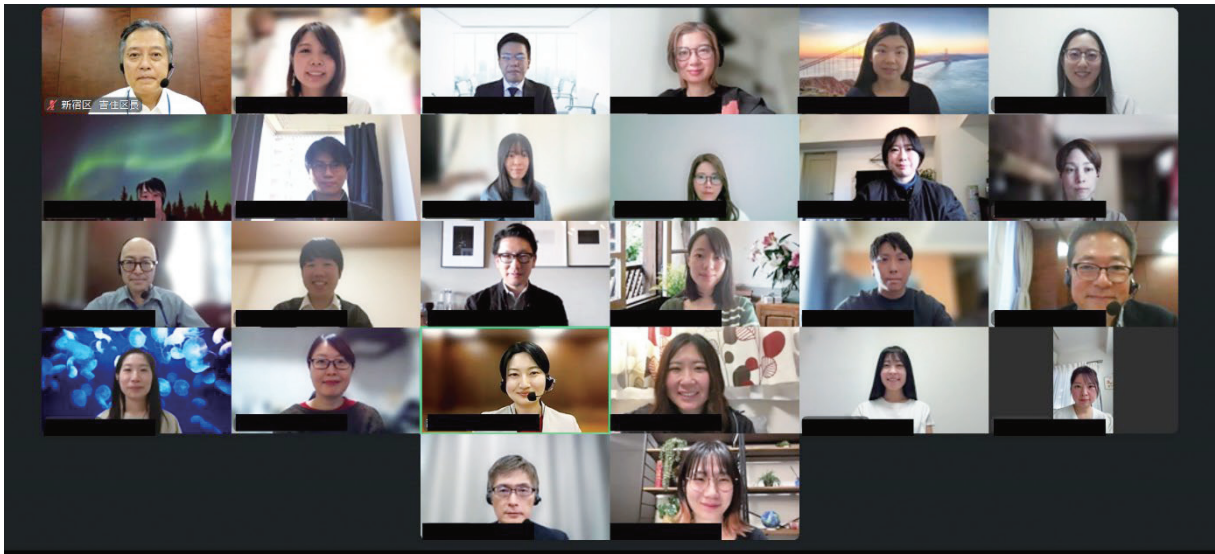
今後も、そうした情報がきちんと行き渡るよう、しっかり取り組んでいければと思っています。

情報発信については、しっかりやっていくように努力をしたいと思います。

DX化については、区はかなり遅れていると認識しています。現在、区では、情報戦略課にDXの機能を集約し、さまざまな手続きが電子決済できるよう集中的に取り組んでいます。そのため、令和8年度から9年度にかけて大きく進展していく見込みですので、もう少しお時間をいただければと思います。

本日は、様々お気づきの点についてご意見をいただき、誠にありがとうございました。

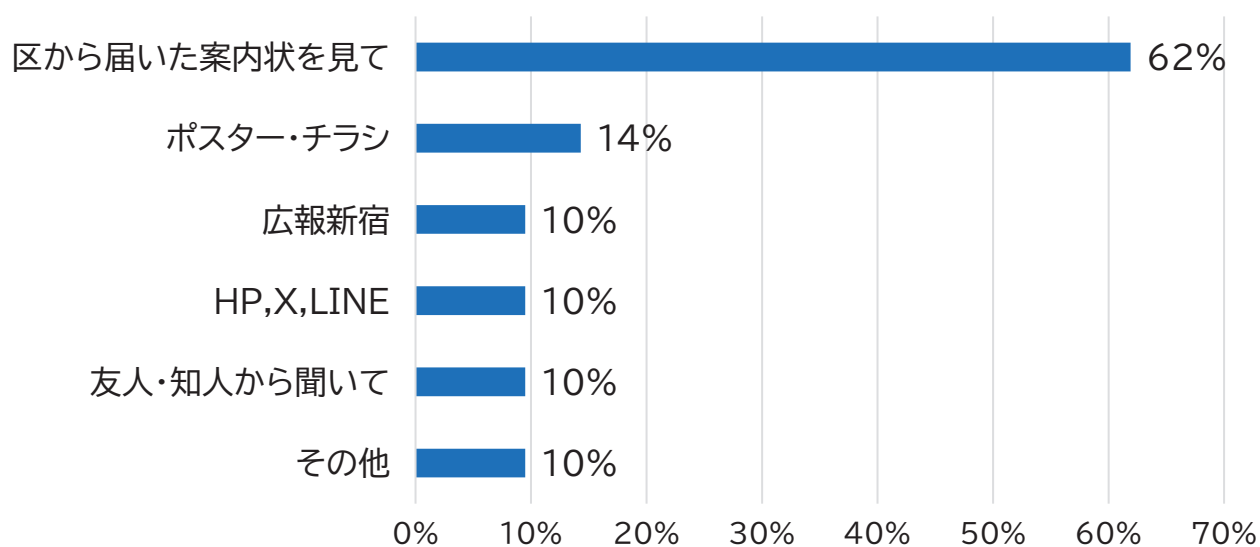
閉会時の記念撮影の様子



VI 参加者アンケート結果

若者 Web 会議を知ったきっかけ

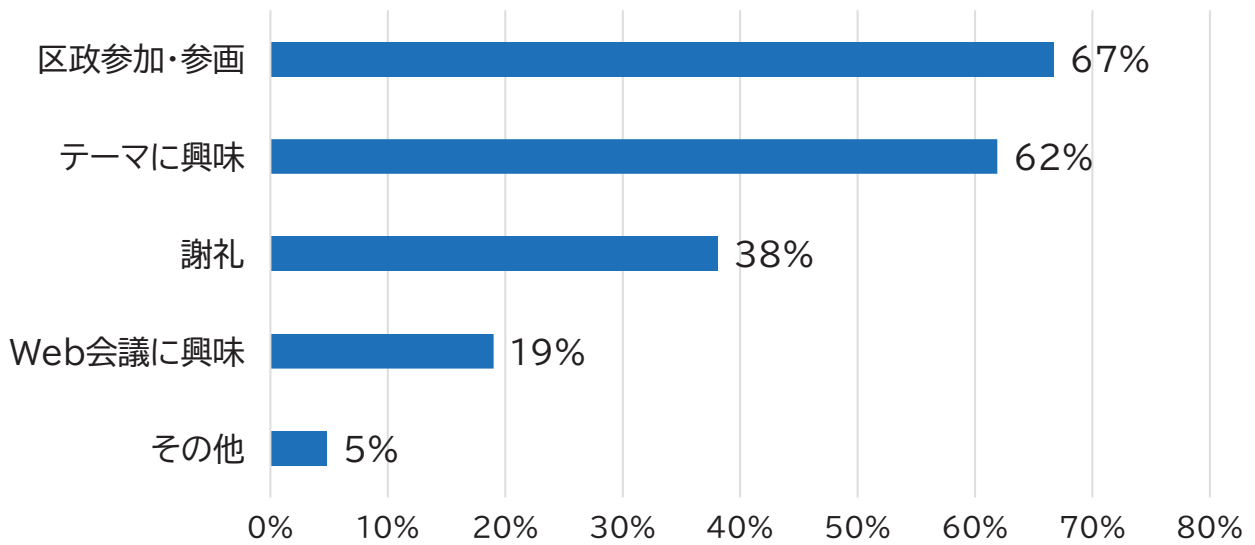
問1 今回の若者 Web 会議を何で知りましたか。(複数選択可)



1	広報新宿	10%
2	HP,X,LINE	10%
3	区から届いた案内状を見て	62%
4	ポスター・チラシ	14%
5	友人・知人から聞いて	10%
6	その他	10%

参加した理由

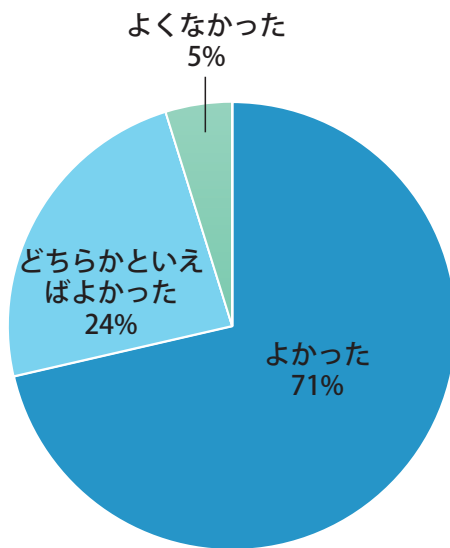
問2 若者 Web 会議に参加を決めた、主な理由は何ですか。(複数選択可)



1	テーマに興味	62%
2	Web 会議に興味	19%
3	謝礼	38%
4	区政参加・参画	67%
5	その他	5%

参加の感想

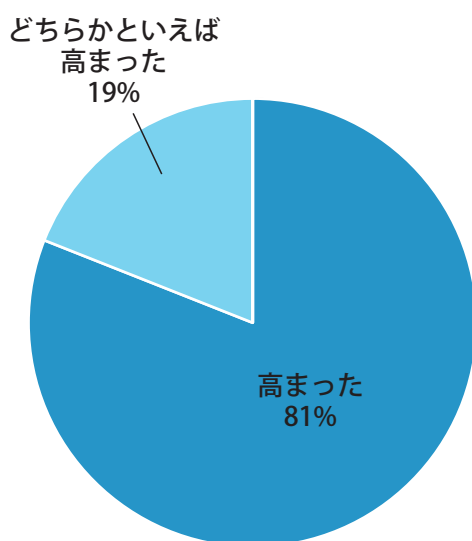
問3 若者 Web 会議に参加されて、ご自身の感想としていかがでしたか。(○は1つ)



1	よかった	71%
2	どちらかといえばよかった	24%
3	どちらかといえばよくなかった	0%
4	よくなかった	5%
5	どちらでもない	0%
6	その他	0%

区政への関心

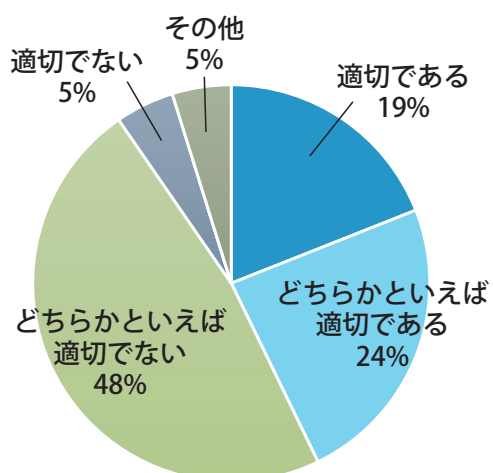
問4 若者 Web 会議に参加されて、新宿区政への関心は高まりましたか。(○は1つ)



1	高まった	81%
2	どちらかといえば高まった	19%
3	どちらかといえば高まらなかった	0%
4	高まらなかった	0%
5	どちらでもない	0%
6	その他	0%

進め方や時間配分

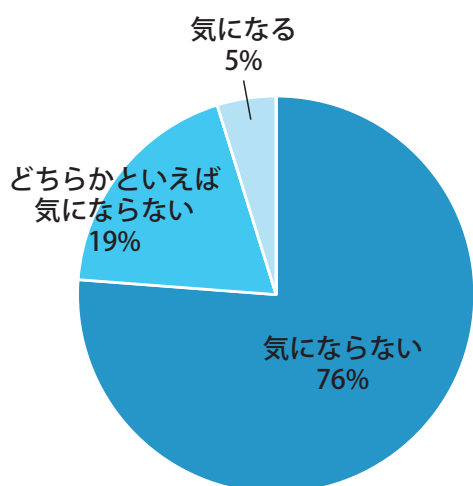
問5 本日の若者 Web 会議の進め方や時間配分は、適切でしたか。(○は1つ)



1 適切である	19%
2 どちらかといえば適切である	24%
3 どちらかといえば適切でない	48%
4 適切でない	5%
5 どちらでもない	0%
6 その他	5%

傍聴者の有無についての意向

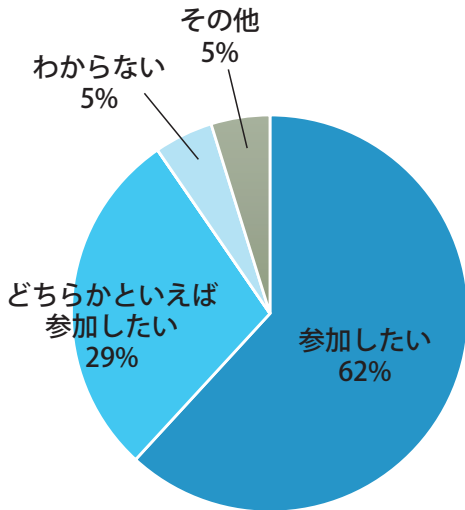
問6 今後、若者 Web 会議に傍聴者がいた場合、意見交換や発表の際に気になると思いますか。(○は1つ)



1 気にならない	76%
2 どちらかといえば気にならない	19%
3 どちらかといえば気になる	0%
4 気になる	5%
5 わからない	0%
6 その他	0%

来年度の参加意向

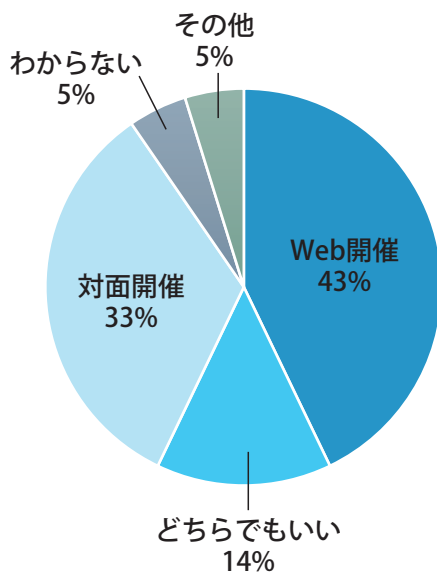
問7 来年度以降も若者 Web 会議に参加してみたいと思いますか。(○は1つ)



1	参加したい	62%
2	どちらかといえば参加したい	29%
3	どちらかといえば参加したくない	0%
4	参加したくない	0%
5	わからない	5%
6	その他	5%

開催方法の希望

問8 今後、若者会議を開催するにあたり、Web 開催と対面開催のどちらが好ましいですか。(○は1つ)



1	Web 開催	43%
2	対面開催	33%
3	どちらでもいい	14%
4	わからない	5%
5	その他	5%

令和7年度

しんじゅく若者 Web 会議実施結果報告書

令和8年3月発行

<編集・発行>

新宿区総合政策部区政情報課広聴係

新宿区歌舞伎町1-4-1

電話(03)5273-4065 (直通)

刊行物作成番号
2025 - 29 - 2106